

古文ドリル：形容詞・形容動詞の活用 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：形容詞・形容動詞の活用

形容詞（2種類）

活用	例	連用形
ク活用	高し・清し・寒し・良し	高く
シク活用	美し・悲し・楽し・いみじ	美しく

形容動詞（2種類）

活用	例	終止形
ナリ活用	静かなり・あはれなり・きよげなり	静かなり
タリ活用	堂々たり・浩々たり・蕩々たり	堂々たり

→ ナリ活用は「やまとことば」中心、タリ活用は漢語中心。

ク活用 完全活用表

例：「高し」

形	本活用	補助活用（カリ活用）
未然	高く（あまり使わない）	高から
連用	高く	高かり
終止	高し	（なし）
連体	高き	高かる
已然	高けれ	（なし）
命令	（なし）	高かれ

→ カリ活用は助動詞接続用（特にラ変型助動詞「ず・べし・なり」など）。

シク活用 完全活用表

例：「美し」

形	本活用	補助活用（シカリ活用）
未然	美しく	美しから
連用	美しく	美しかり
終止	美し	（なし）
連体	美しき	美しかる
已然	美しけれ	（なし）
命令	（なし）	美しかれ

ナリ活用 完全活用表

例：「静かなり」

形	形
未然	静かなら
連用	静かなり・静かに
終止	静かなり
連体	静かなる
已然	静かなれ
命令	静かなれ

→ 連用形「～に」は **動詞修飾**、「～なり」は **助動詞接続用**。

タリ活用 完全活用表

例：「堂々たり」

形	形
未然	堂々たら
連用	堂々たり・堂々と
終止	堂々たり
連体	堂々たる
已然	堂々たれ
命令	堂々たれ

ク活用 vs シク活用 見分け方

連用形： - ク活用：「〜く」（高く・清く・寒く） - シク活用：「〜しく」（美しく・悲しく・いみじく）

→ **連用形を作って** 区別。 → または「〜なる」（なる接続）で区別（高きなる→高しク／美しきなる→美しシク）。

主な形容詞・形容動詞リスト

ク活用（重要）

高し、低し、長し、短し、寒し、暑し、よし、悪し、無し、多し、少し、若し、近し、遠し、深し、浅し、清し、白し、暗し、明し、固し、軽し、重し、強し、弱し、苦し（にがし）、難し、易し、貴し、賢し

シク活用（重要）

美し、悲し、楽し、苦し（くるし）、嬉し、惜し、恋し、悔し、口惜し、恥づかし、ゆかし、いみじ、をかし、めづらし、新し、古し、なつかし、勇まし、わびし

ナリ活用（重要）

静かなり、あはれなり、きよげなり、清らなり、心細げなり、おろかなり、なほざりなり、由々しげなり、艶なり、はなはだなり、まめなり、こころよげなり、優なり、いみじげなり、おぼろけなり

タリ活用（漢語系）

堂々たり、浩々たり、蕩々たり、漫々たり、燦然たり、悠々たり、煌々たり、悄悄たり、寂寞たり、整然たり、断乎たり

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず「直後の文字」だけ見る

活用形は **直後** でほぼ決まる。 - 直後が **体言** → 連体形（き／しき／なる／たる） - 直後が「**ば／ども／ど**」 → 已然形（けれ／なれ／たれ） - 直後が「**ず／じ／む／ば（仮定）／まし**」 → 未然形（から／なら／たら） - 直後が **句点（。）** → 終止形（し／なり／たり）

コツ② 「し」で終わったら 必ず形容詞

「高し／清し／美し／悲し」のように **末尾が「し」** で終わる形は **形容詞**。 - 連用形「く」が「し」なら **シク活用**（美しく・悲しく） - 連用形「く」が「く」のみなら **ク活用**（高く・寒く） → 終止形に「し」を付けて「**シク**」になるか「**ク**」になるかで一発判定。

コツ③ 「なり／たり」が来たら出口は4択

語幹が「**やまとことば**」 → ナリ活用（静かなり・あはれなり）

語幹が **漢語**（堂々・浩々） → タリ活用

語幹が **動詞・体言＋なり** → 断定 or 伝聞推定の助動詞（このドリル対象外）

語幹が **形容詞語幹＋なり** はほぼなし

→ 「あはれなり／静かなり／きよげなり」のような **やまとことば＋なり** はナリ活用で確定。

コツ④ 「かり／から／かる／かれ」を見たら カリ活用

- 「**から**」＋ず／じ／む → 未然形
- 「**かり**」＋けり／き／つ／ぬ → 連用形
- 「**かる**」＋べし／体言 → 連体形
- 「**かれ**」単独・命令 → 命令形

→ シク活用なら「**しから／しかり／しかる／しかれ**」。「し」が付くだけ。

試験本番でのチェック順序

1. 末尾「し」？ → 形容詞確定。連用形でク／シクを判定

2. 「なり」「たり」？ → 語幹で形容動詞か助動詞か判定
3. 「かり／から／かる／かれ」？ → カリ活用。下接語で活用形を決定
4. 直後の文字で活用形を確定（体言／ば／ず／句点）

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「**たる**」が完了「たり」連体形のこともある（タリ活用と紛らわしい）→ 語幹が漢語かで判別
- 「**なる**」が断定／伝聞推定「なり」連体形のこともある → やまとことば語幹かで判別
- 「**いみじう／高う**」のようなウ音便は **連用形**（「いみじく／高く」が変化）

採点表

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

各活用の基本形を識別。

Q1. 活用の種類と活用形を答えよ。

月清く。

Q2. 活用の種類と活用形を答えよ。

物悲し。

Q3. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かなる夜。

Q4. 活用の種類と活用形を答えよ。

堂々たり。

Q5. 活用の種類と活用形を答えよ。

高ければ。

Q6. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれに思ふ。

Q7. 活用の種類と活用形を答えよ。

美しき人。

Q8. 活用の種類と活用形を答えよ。

寒かりけり。

Q9. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かならず。

Q10. 活用の種類と活用形を答えよ。

楽しく侍り。

Q11. 活用の種類と活用形を答えよ。

高からず。

Q12. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれなる御方。

Q13. 活用の種類と活用形を答えよ。

悲しけれ。

Q14. 活用の種類と活用形を答えよ。

風静かなれば。

Q15. 活用の種類と活用形を答えよ。

寒くして、夜長し。

Q16. 活用の種類と活用形を答えよ。

美しからじ。

Q17. 活用の種類と活用形を答えよ。

いみじく悲しき。

Q18. 活用の種類と活用形を答えよ。

堂々たる御姿。

Q19. 活用の種類と活用形を答えよ。

良かれ。

Q20. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれにもあるかな。

基礎編 / 20

【第2部】 標準編 (Q21~Q50)

カリ活用・タリ活用・係り結び結び。

Q21. 活用の種類と活用形を答えよ。

思ふこと多かるべし。

Q22. 活用の種類と活用形を答えよ。

嬉しくなむ思ふ。

Q23. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれなりけり。

Q24. 活用の種類と活用形を答えよ。

堂々と戦ふ。

Q25. 活用の種類と活用形を答えよ。

高くぞありける。

Q26. 活用の種類と活用形を答えよ。

物悲しきこそ、秋の心なれ。

Q27. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かなり侍り。

Q28. 活用の種類と活用形を答えよ。

浩々たる大海。

Q29. 活用の種類と活用形を答えよ。

よろづのこと、よろしからず。

Q30. 活用の種類と活用形を答えよ。

心強かりしかども。

Q31. 活用の種類と活用形を答えよ。

いみじくこそ覚えけれ。

Q32. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれなる御心ばへ。

Q33. 活用の種類と活用形を答えよ。

燦然たる光。

Q34. 活用の種類と活用形を答えよ。

寒さに耐へがたけれど、なほ歩く。

Q35. 活用の種類と活用形を答えよ。

月の光いと清らかにして。

Q36. 活用の種類と活用形を答えよ。

いみじかりける夜。

Q37. 活用の種類と活用形を答えよ。

浩々として広き海。

Q38. 活用の種類と活用形を答えよ。

涙落ち、悲しくもなりぬ。

Q39. 活用の種類と活用形を答えよ。

高かるべきに。

Q40. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれならば、訪ねまし。

Q41. 活用の種類と活用形を答えよ。

山高く水深し。

Q42. 活用の種類と活用形を答えよ。

楽しからまし。

Q43. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かなる都。

Q44. 活用の種類と活用形を答えよ。

蕩々たる月明かり。

Q45. 活用の種類と活用形を答えよ。

よろしからぬこと。

Q46. 活用の種類と活用形を答えよ。

いみじう恥づかし。

Q47. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かなりつる夜。

Q48. 活用の種類と活用形を答えよ。

蕩々たれども、心動かず。

Q49. 活用の種類と活用形を答えよ。

心強かれ。

Q50. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれにもまた哀しき秋。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

音便・複合・特殊活用。

Q51. 活用の種類と活用形を答えよ。

高うなりぬ。

Q52. 活用の種類と活用形を答えよ。

寒う侍り。

Q53. 活用の種類と活用形を答えよ。

美しう思ふ。

Q54. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かにこそ侍りけれ。

Q55. 活用の種類と活用形を答えよ。

心細げなる有様。

Q56. 活用の種類と活用形を答えよ。

心細げに思ふ。

Q57. 活用の種類と活用形を答えよ。

寂寞たり。

Q58. 活用の種類と活用形を答えよ。

心細くもあるかな。

Q59. 活用の種類と活用形を答えよ。

いみじかれ。

Q60. 活用の種類と活用形を答えよ。

蕩々たらば、いかに楽しまし。

Q61. 活用の種類と活用形を答えよ。

心ゆかしう、ふしぎなる御方。

Q62. 活用の種類と活用形を答えよ。

麗しき御顔ばせ。

Q63. 活用の種類と活用形を答えよ。

風の音、よろづにつけて寂寥たり。

Q64. 活用の種類と活用形を答えよ。

をかしからぬことなり。

Q65. 活用の種類と活用形を答えよ。

いと深く思ひ入りたり。

Q66. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれにぞ侍りける。

Q67. 活用の種類と活用形を答えよ。

よろしからず、悲しからず。

Q68. 活用の種類と活用形を答えよ。

物いみじう、口惜し。

Q69. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かなるものから、なほ涙落つ。

Q70. 活用の種類と活用形を答えよ。

蕩々たる川面、月浮かぶ。

Q71. 活用の種類と活用形を答えよ。

山深く、人気なく侍り。

Q72. 活用の種類と活用形を答えよ。

楽しきことのみ多かれ。

Q73. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれなる御容貌にて、見ゆ。

Q74. 活用の種類と活用形を答えよ。

いとど心細う、なほ歩く。

Q75. 活用の種類と活用形を答えよ。

よろしかるべき御有様。

Q76. 活用の種類と活用形を答えよ。

あはれならぬものなし。

Q77. 活用の種類と活用形を答えよ。

浩々として広かりければ。

Q78. 活用の種類と活用形を答えよ。

心細げなれば、なほ涙落つ。

Q79. 活用の種類と活用形を答えよ。

静かにもあらず。

Q80. 活用の種類と活用形を答えよ。

嬉しくこそ侍りけれ。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

難関大頻出。古典作品からの抜粋。

Q81. 活用の種類と活用形を答えよ。(枕草子・第一段)

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

Q82. 活用の種類と活用形を答えよ。(枕草子・第一段)

夏は夜。月の頃はさらなり、闇もなほ、蛍の多く飛び違ひたる、また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。

Q83. 活用の種類と活用形を答えよ。(枕草子・第一段)

秋は夕暮。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛びいそぐさへあはれなり。

Q84. 活用の種類と活用形を答えよ。(徒然草・第一段)

いでや、この世に生まれては、願はしかるべきことこそ多かめれ。

Q85. 活用の種類と活用形を答えよ。(徒然草・序段)

つれづれなるままに、日暮らし、硯にむかひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかたなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

Q86. 活用の種類と活用形を答えよ。(源氏物語・桐壺)

朝夕の宮仕へにつけても、人の心をのみ動かし、恨みを負ふ積もりにや、いと篤しくなりゆき、もの心細げに里がちなるを…

Q87. 活用の種類と活用形を答えよ。(伊勢物語・東下り)

三河の国八橋といふ所に至りぬ。そこを八橋といひけるは、水ゆく河のくもでなれば、橋を八つ渡せるによりてなむ、八橋といひける。その沢のほとりの木の蔭に下り居て、乾飯食ひけり。その沢にかきつばたいとおもしろく咲きたり。

Q88. 活用の種類と活用形を答えよ。(源氏物語・若紫)

雀の子を犬君が逃がしつる。伏籠の内に込めたりつるものを。

Q89. 活用の種類と活用形を答えよ。(更級日記)

あづま路の道のはてよりも、なほ奥つかたに生ひ出でたる人、いかばかりかは**怪しかり**けむを、いかに思ひはじめける**こと**にか、世の中に物語といふもののあるを、いかで見ばやと思ひつつ…

Q90. 活用の種類と活用形を答えよ。(土佐日記)

男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり。その年のしはすの二十日あまり一日の日の戌の時に、門出す。…十二月の二十日あまり一日。…ある人、県の四年五年果てて、例のことどもみなし終へて、解由など取りて、住む館より出でて、舟に乗るべき所へ渡る。

Q91. 活用の種類と活用形を答えよ。(平家物語・冒頭)

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。**奢れる**人も**久しからず**、ただ**春の夜の夢のごとし**。

Q92. 活用の種類と活用形を答えよ。(百人一首・小野小町)

花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに

Q93. 活用の種類と活用形を答えよ。(百人一首・紀友則)

ひさかたの光のどけき春の日に**しづ心**なく花の散るらむ

Q94. 活用の種類と活用形を答えよ。(百人一首・赤染衛門)

やすらはで寝なましものを小夜更けてかたぶくまでの月を見しかな

Q95. 活用の種類と活用形を答えよ。(古今集・在原業平)

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと

Q96. 活用の種類と活用形を答えよ。(源氏物語・桐壺)

御前の壺前栽のいとおもしろき盛りなるを御覧ずるに…かたじけなく思ひたまふる。

Q97. 活用の種類と活用形を答えよ。(枕草子・うつくしきもの)

うつくしきもの、瓜にかきたるちごの顔。雀の子の、ねず鳴きするにをどり来る。二つ三つばかりなるちごの、いそぎてはひくる道に、いと小さき塵のありけるを目ざとに見つけて、いとをかしげなる指にとらへて、大人ごとに見せたる、いとうつくし。

Q98. 活用の種類と活用形を答えよ。(平家物語・木曾の最期)

木曾殿は、信濃より、巴・山吹とて、二人の便女を具せられたり。山吹は労りあれば、都にとどまりぬ。…いつくしき男も、終には討たれぬ。

Q99. 活用の種類と活用形を答えよ。(方丈記・冒頭)

ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。

採点振り返り

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- **合計 : /100**

あしがき

形容詞・形容動詞の核心： - **形容詞ク活用**：高し・清し（連用「く」） - **形容詞シク活用**：美し・悲し（連用「しく」） - **形容動詞ナリ活用**：静かなり・あはれなり（連用「に／なり」） - **形容動詞タリ活用**：堂々たり・浩浩たり（連用「と／たり」）

カリ活用・シカリ活用は **助動詞接続用**（特に「ず・べし・なり・けり」など）。ウ音便（高う・寒う・美しう・いみじう）は **連用形** の変化形と覚える。

源氏物語・枕草子・徒然草・平家物語・方丈記など、古典の名作からの抜粋で識別力を磨くのが入試対策の王道。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太